

## 令和元年度 横山地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和元年11月5日(火)午後7時から午後8時45分まで
- 2 場 所 横山公民館大会議室
- 3 市側出席者 本村市長、隠田副市長、藤田中央区長、青木消防局長、鈴木副危機管理監  
河崎保険高齢部長、岩本経済部長、小松副消防局長、鈴木中央区副区長  
樋口市民局長、高梨市民局次長
- 4 出席委員等 20人
- 5 傍聴者 3人
- 6 懇談会の要旨

テーマ1	地域における火災等災害発生時の危機管理体制について
概要	<p>横山地区では、6月上旬ごろ金属加工工場から出火し黒煙を噴き上げるほどの火災が発生した。現場付近は住宅と工場が混在しており、住民は近接して生活している。</p> <p>工場火災等は、化学物質等が飛散するなど広範囲に広がる恐れもあり、火災現場の情報や避難先の開設情報などを周辺住民へ早急に周知し、避難体制を確保する必要がある。</p> <p>また、火災発生時における小学校への情報伝達体制や地区内の危険物等取扱事業所等の情報などについても伺った上で、今後、同様の火災等が起きた際に、地域が事前に備えられることは何か、発生した際に何ができるのか、どのような対応をするべきかについて議論を深め、地区として普段から備えるべき危機管理体制について市と懇談をしたい。</p>
地区の取組状況等	<p>横山地区においては、毎年、地区連合自主防災隊と避難所運営協議会が合同で訓練を実施し地震など大規模災害に備えている。また、地区の防災マイスターの方も今年から増え、無線の通信訓練を試験的に実施するなど地域の「防災」に対する取組には関心が高まっている。</p> <p>しかし、最近発生した工場火災のような災害については、被害が地域の広範囲に及ぶ恐れがあるほか、地震や風水害の組織化された災害対応とは違い、訓練等では想定されていないものであることから、現場周辺の被害状況の情報が地域住民や小学校等へ迅速に伝わらず対応が遅れが生じていた。</p> <p>また、地域住民には、近隣の危険物等取扱事業所などの情報が少なく、災害が起きて初めてその把握の必要性が感じられた。</p>
市の取組状況等	<p>今回の火災については、6月4日(火)午後3時13分頃に、小町通にある工場から出火していると119番通報があり、非常に多くの消防隊が出動した。</p> <p>具体的には、消防車28台で90名が出動し、その内消防団には、2台で6名の方に出動いただいた。また、警察関係者にもご協力いただき、警察車両12台で43名の方に出動いただいた。完全に火が消えたのは午後10時12分頃であり、火災発生から7時間もの間対応をしていた状況である。</p> <p>火災発生の現場となった工場内には5棟の建物があったが、そのうちの1棟が全焼したものとなっている。工場内では、灯油と同様の性質をもった引火性の液体を取り扱っていたほか、梱包材やスタッドレスタイヤなどを大量に保管してい</p>

たこともあり、火災発生後、一瞬で火が燃え広がった。

当時の現場は、建物が崩れてくる危険性もあったため、消防隊員でさえも工場内に足を踏み入れることが容易ではなかった。結果として鎮火には時間がかかってしまい、黒煙や刺激臭も発生してしまうなど、周辺住民の皆様には、大変ご心配をおかけした。

火災当時、消防隊員から地域住民の方に対して、「煙を吸わないでください」、「家の窓を閉めてください」などの呼び掛けを行ったが、現在の火災の状況や消火にかかる時間など、火災に関するその他の情報についてはあまり伝えることができなかった。今後同様の火災があった際には、適切に対応していきたいと考えている。

火災発生時に市民の皆様にとっていただきたい行動は、第一に自分の身の安全を確保していただくことである。消防職員や警察官から発信された様々な情報をもとに、その内容に応じた適切な行動を取っていただきたい。

危険物取扱事業所については、地区内に10箇所存在し、代表的なものとしてガソリンスタンドがある。危険物取扱事業所について情報を得たい場合は、情報開示請求の申請をしていただければと考えている。地区内でそういった情報を事前に集めていただくことで、あらゆる災害に前もって備えていただきたい。

火災発生に備えた事前の対策としては、避難した際に長期間帰宅できない可能性もあるため、日頃使っている生活必需品や大切なものをすぐに持ち出せるように日頃から準備していただくことが大事であると考えている。(消防局)

地域防災計画では、大規模地震に伴う同時多発の火災が発生し延焼拡大した場合に、火煙やふく射熱から身を守るため、広域避難場所等への避難勧告や避難指示について規定しているところである。

今回の火災に対する市の対応としては、火災覚知後、速やかに教育委員会を通じて周辺の小中学校に注意喚起し、教員が通学路の安全確保をしたうえで、引率や集団下校、保護者への引き渡しなどを実施したと承知している。

避難先については、周辺の公民館における避難者の受入れを決定し、ひばり放送、防災メール、ツイッター等により周知を行った。最大避難者数は、清新公民館で6名、横山公民館29名であり、午後7時30分に鎮火による消防警戒区域が解除され、午後8時には避難者全員が帰宅した。

仮に、小学校等が消防警戒区域内に存在していた場合は、消防が避難を促し、区域外への避難を実施することとなっている。市としては、小中学校や事業所などの防災訓練について引き続き促進してまいりたい。

地域が事前に備えられることとしては、地区防災計画に自主防災隊の活動計画が定められている中で、実際にしっかりと訓練を行うことが大切であると考えている。

市が行うべきこととしては、迅速な情報の発信、さがみはら防災マイスター制度を活用した防災マイスターの養成等を引き続き行っていくことである。

また、自主防災組織や消防局、危機管理局等がともに連携を図ることによって、災害時の避難に援護を必要とする方への支援など、より実践的な訓練を行っていききたいと考えている。(危機管理局)

懇談内容	
地区の発言	<p>今回の火災発生時、消防警戒区域はどこに設定したのか。また、近隣の地域住民に対し、どのような指示をされたのか伺いたい。</p> <p>一方、市内には工業団地が集結している場所が多数あると思うが、そういった場所で火災が発生した場合、地域住民へ指示をする際にどのようなことに気をつけているのか教えていただきたい。</p>
市の発言	<p>工業地域内で火災が発生した場合は、地域住民に対し、火災発生の周知や避難に関する情報の提供等を行っている。</p> <p>今回の火災では、ひばり放送で「現在小町通二丁目で火災が発生しております。危険ですので付近には絶対に近寄らないで下さい。また近隣にお住いの方は窓を閉めて下さい」といった内容を放送し、ツイッターや防災メールでも同内容の情報発信を行った。（危機管理局）</p> <p>今回の火災では、火災現場となった工場がある一つの区域を消防警戒区域に指定した。また、その区域を一回り大きく囲み、警察が車両や人の出入りの規制を行っていた。（消防局）</p>
地区の発言	<p>防災メールを拝見したが、地域住民からすると、その場に留まっていてよいのか、避難しなければいけないのかが分からず不安であった。</p> <p>特に、今回の火災現場の近くには保育園があり、先生や子どもたち、親御さんは不安だったのではないかと思う。</p> <p>現場にいる消防や警察の方に、地域住民に対するより具体的な指示をしていただきたいと思う。</p>
市の発言	<p>火災や災害が発生した際に適切に避難していただけるように、消防局とともに情報の発信に努めて参りたい。（危機管理局）</p> <p>今回の火災については、警察の方が避難指示等の案内をしたという情報をいただいている。具体的な範囲は把握していないが、火災現場付近については、そういった周知を行ったと伺っている。（中央区役所）</p>
地区の発言	<p>今回の火災発生について、横山小学校への第一報は保護者からであった。小中学校への火災に関する情報伝達については、教育委員会経由で行われたと伺ったが、横山小学校に対し、具体的にどのような情報伝達を行ったのか伺いたい。</p>
市の発言	<p>危機管理局は、午後3時35分頃に教育総務室に火災発生の連絡及び近隣の小学校への注意喚起について依頼した。（危機管理局）</p> <p>教育委員会が、当時どのような情報伝達を行ったのかについては、後日確認し、報告させていただきたい。（副市長）</p>
地区の発言	<p>情報の伝達についてであるが、各地区の公民館に火災発生等の情報を集約し、そこから情報を発信するという方法もあるのではないかと。</p>
市の発言	<p>公民館へ火災発生等の連絡をすることについては可能であると考えますが、そのためには、どのように情報を伝達するのか、その体制を確立する必要がある。</p> <p>地域の方への情報伝達については課題があると受け止めており、細かい情報伝達方法等含め、今後どのようにしていけるか考えていきたい。（副市長）</p> <p>今回の火災については、緊急対策課から横山公民館、清新公民館に対し情報が伝達されている。公民館から市民の方にどのように情報を伝達できるかについては、今後検討させていただきたい。</p>

	<p>なお、区役所からも横山公民館、清新公民館に職員を派遣し、現場の状況を確認するよう指示している。近隣にある自治会の会長に対しても、電話で避難情報や火災の情報をお伝えした。（中央区役所）</p>
地区の発言	<p>今回、小学校への情報伝達体制が問題として挙がっているが、横山地区にはその他にも、幼稚園、保育園、高齢者施設等がある。市の管轄ではないかもしれないが、実際に避難が必要であった場合に、そういった各施設に対しどのように情報が伝達されるのか、今回の話を受け疑問に思った。今後検討していく必要があるのではないか。</p>
地区の発言	<p>地区には自主防災隊や交通安全協会があり、今回のような火災の時に、何か手伝えることがあれば協力したいと考えている。連絡をいただければ、警察の方と一緒に交通整理をするなど協力できると思う。</p>
地区の発言	<p>市は化学消防車を何台もっているか。また、化学の専門家は何人いるか。</p>
市の発言	<p>化学消防車は3台保有している。化学の専門家は配置していない。（消防局）</p>
地区の発言	<p>今回の工場火災をきっかけとした地区の危機管理体制や情報伝達体制の構築について、今後のまちづくり会議の中でも進めていきたい。話し合いを進めていく中で、市も必要な情報を開示していただくなど、ご協力いただきたい。</p>
地区の発言	<p>地区内では自主防災隊等による防災訓練を実施しているが、即効性はあまりないと考えており、自治会員である、なしに関わらず、日頃から近所の人同士が連携し、助け合える近助3人組のコアが地域の中に一つ一つできていくことが肝心ではないかと考える。</p>
市の発言	<p>今回の工場火災や先般の台風第19号の例からも、災害時における情報伝達方式には課題があると感じている。今後情報伝達体制を見直し、全市的にも広げていきたいと考えている。</p> <p>また近助3人組の話についても、今回の例に限らず大事な話だと考えている。今回いただいた様々なご意見を今後の参考にさせていただきたい。（市長）</p>

テーマ2	買い物支援体制づくりについて
概要	<p>横山地区は、相模線・国道129号線を挟み東西に分布しており、住民の生活を支える食料品・生活必需品の買い物は、東側の県道503号線沿いに、相鉄ローゼン横山台店があり、西側の国道129号線沿いには、オーケストア下九沢店が、また、下九沢団地近隣にはヤオコー相模原下九沢店が進出している。</p> <p>一見買い物に便利な地区に思えるが、自身の高齢化と共に行動範囲が狭くなったり、病気や足腰が弱ったりなどといった理由から、買い物に出かけることが難しく、日常の買い物に不便を感じている買い物弱者や買い物困難者が当地区内にも増加している。</p> <p>また、地域の一部には交通不便地区もあり、高齢者にとっての「買い物場所」と「足」の問題を支援していく必要がある。</p> <p>今後、買い物バスなど移動手段の提供・宅配や買い物サービス、移動販売事業の支援を進める早急な対応が求められるが、これらの支援の取組について懇談したい。</p> <p>また、相模原市ではこのほど高齢者の移動手段を地域で支える「移動支援推進モデル事業」に着手したと伺っているが、この事業の進捗状況と今後の展開について懇談したい。</p>
地区の取組状況等	<p>横山地区では、平成30年9月に開催された横山地区地域ケア会議「ALL横山地域づくり部会」において、移動手段が今後の課題として取り上げられたこともあり、既に移動販売を実施している光が丘地区を参考に、移動販売事業の導入に向け、イオンリテール株式会社との交渉を進めてきた。</p> <p>平成30年11月末には、イオンリテール株式会社に移動販売説明会を開催していただき、横山公民館において移動販売の公開講座が行われた。</p> <p>また、地区内における買い物環境やその不便さについて状況を把握するために高齢者施設やボランティア団体等へ買い物アンケートを実施し、その結果を踏まえ、地区内における移動販売車駐車スペースの選定に着手した。</p> <p>現在は、近隣のスーパーマーケットを考慮しながら、候補地を15箇所選定したところであり、今後協議を進めていく中でさらに検討を進めていく予定である。</p> <p>令和元年9月8日には地区内2か所において実験販売を実施し、85名の来客に対し452点の品目を売り上げ、移動販売車での買い物の関心の高さを実感した。</p> <p>買い物アンケートの結果においても、移動販売車を利用したいという回答が最も多く、関心の高さを知ることができた。また、現在買い物に不便を感じているとする人はあまり多くなかったが、自身の年齢が重なっていく中で、買い物が不便になっていくのではないかと、今後不安を感じている方が多く存在し、移動販売車の逸早い導入の必要性を感じられた。</p> <p>今後も地域の方の買い物を支援すべく、横山買い物支援プロジェクトや横山地区自治会連合会、そして横山地区社会福祉協議会など、地区内の様々な団体の協力や行政からの支援を頂きながら、イオンリテール株式会社との協議を重ね、移動販売の実現に向け取り組んでいきたい。</p>
市の取組状況等	交通不便地域での移動販売の実施にあたっては、地域の声の集約や移動販売場

所の選定に最も時間を要する。特に場所の選定については、地権者の同意が必要な場合があるため困難である。

その点、横山地区では、色々な角度からアンケートを採り、細かい声も集約しているということで、取組が進んでいると感服した。

移動販売事業における市の取組としては、包括連携協定を締結しているセブンイレブン・ジャパン(株)と連携し、平成29年度から城山地区を、また、平成30年度から津久井地区をそれぞれモデル地区として、地域と連携した移動販売を開始している。

特に緑区については、個々の家が離れていることもあるため、そういった買い物の方が地域のコミュニケーションの醸成につながっているとの話も伺っている。また、移動販売開始のために、地域住民同士が話し合い、様々な検討を進める中で、同時に地域のつながりも深まったということも伺っている。

セブンイレブン・ジャパン(株)などのように、地域貢献を目的として移動販売事業を実施する場合は、公園の使用料の免除が可能である。移動販売事業を進めていく中で、新たに公園を使用したい場合は、市に相談いただければ調整させていただきます。(環境経済局)

人生100年時代と言われる中、令和元年10月1日現在における本市の高齢化率は25.5%となっている。対して、横山地区の高齢化率は24.5%、最も高くなっているのは、相模湖地区の38.8%となっている。

今後さらに後期高齢者の方の割合が増えていくことが予想され、免許返納などにより、買い物や病院等への外出が困難になっていくことが想定される。

こうした背景をもとに、地域の実情を踏まえた地域住民の支え合いによる移動支援の取組を促進するため、今年度から移動支援推進モデル事業を実施しているところである。

事業の実施について、すべての地区に声掛けをした中で、城山地区と麻溝地区から手が挙がった経過があり、この2地区をモデル地区とし、地域の方と様々な協議をしながら、具体的な内容について検討を進めている。

本事業は、地域の移動支援の有識者として「認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク」が伴走役として、モデル地区の皆様とともに、勉強会の開催、助言や相談支援などを通じて、地域の実情に合った互助による移動支援の取組方策について検討しているところである。

城山地区においては、地域の社会福祉法人の協力により、空き車輜と職員の提供を受け、高齢者の方をサロンへ送迎する取組の検討が進められ、11月の試行運転を目指していると伺っている。

また、麻溝地区においては、地域住民向けの全戸対象の移動支援に関するアンケート調査の実施や地域の社会福祉法人のネットワークづくりに向けた検討を進めていると伺っている。

モデル地区による取組は、令和3年3月末までとなっており、本年度は、中間取りまとめ報告会、次年度はモデル事業報告会の開催を予定している。モデル事業が終了した際には、この事業を通じて得られた成果や課題を検証した上で、令和3年度以降の移動支援の在り方についても検討していきたい。

また、移動販売事業については、経済部や交通政策課等と情報共有を図りなが

	ら、今後も検討していきたいと考えている。（健康福祉局）
懇談内容	
地区の発言	<p>神奈川県でも、県内5市で、地域住民、NPO法人と連携しながら外出支援モデル事業の取組を始めたと同っている。このように、今後は県内各地において取組が広まっていくのではないかと期待している。</p> <p>本市についても、高齢者の交通問題等の解決に向け、取組を進めていただきたい。</p>

市長の感想等	<p>これまで市民の方から、公共交通網の再整備をして欲しいという声を数多く聞いてきた。現在本市では、データを集め、どの地域の方がどういったことを望まれているのかを調べている。横山地区においても、交通不便地域の解消や小田急多摩線の延伸など、様々な期待を持たれているかと思う。</p> <p>また、買い物難民といった問題を解決するためにも、地域の皆様と対話をしながら、取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>現代は、インターネットによる商品の購入が可能であるが、それでは人とのつながりが少なくなり寂しく感じる。直接顔を合わせ、対話をしながら買い物ができる環境づくりに向けて検討していきたい。</p> <p>行政だけの発想ではまだまだ足りない部分があり、地域の皆様からぜひ色々なご意見をいただきたいと考えている。横山地区が更に輝けるような環境づくり等に向けて、地域の方の声を聞きながら庁内一丸となって取り組んでまいりたい。</p> <p>（市長）</p>
--------	--